



小林 立栄 議員
(無党派)
一問一答方式

その他の質問

- 遠野駅舎の利活用について
- エシカル消費(倫理的消費)について

ICT(情報通信技術)の活用で 市民福祉の向上を

問.....

ICTを活用し、保健・医療・福祉・救急救命の各専門職の方が情報を共有すること、より安全で切れ目のない診療や介護などのサービスが充実すると考えるが。

問.....

地域活性化に役立つ生活に密着したICT利活用についての情報発信、活用する際のサポート体制の整備が必要では。

答.....

子ども達にとって適切な学習環境の提供を意識し、学力向上の取り組みを進める上で効果などを検証しながら、タブレット端末やWi-Fi(ワイ・ファイ)の整備について検討していく。

チーム学校として 複雑化・多様化する課題に対応できる環境整備を

問.....

教職員の皆さんが力を発揮できる環境が重要である。部活指導員や専門スタッフ、地域住民との連携・協働を深め、「チーム学校」として複雑化・多様化する課題に対応できる環境整備を進めるべきでは。

答.....

地域と一体となった遠野ならではの取り組みを継続するとともに、より緊密な連携を図ることで、教員が子どもと向き合う時間を確保し、学校と地域が良きパートナーとなることが大切である。校長のリーダーシップの



地域と一体で、教職員の皆さんが力を発揮できる環境を

答.....

医療情報ネットワークの構築による情報の共有化を図る仕組み、体制整備に努力したい。

答.....

ICTを利活用できるサポート体制は重要である。研修や人材育成に取り組みながら、情報システムを活かしていく対応にも取り組む。

問.....

タブレットやクラウドを活用して反転授業に取り組み学校が活用についての考えは。

問.....

「利用状況の芳しくない施設及び機能が重複している施設は、他施設との複合化及び用途廃止等を検討する。」という、統合・廃止の推進方針を打ち出し、「少なくとも3割(約85箇所)の建物について、他施設との統合・廃止等の見直し策を検討していく必要がある。」という具体的な数値目標を設定した。この難しい課題をどのようにの方策で解決に導いていくようとしているのか。

答.....

不要不急のものにはコストをかけない。厳しい視点を持ちながら対応していかなければならないと考えている。地域事情など公共施設のさまざまなあり方を整理しながら、市民の合意・納得をいただき対応していくことに尽きる。計画を進めるうえで、丁寧な事前説明や詳細な情報提供をすることで「突如話が出て、結論ありきだ」ということの無いよう十分に留意したい。

余剰のハコモノは 財政を脅かす

問.....

「公共施設等総合管理計画(H28~H37)」によると、市の保有する施設は358箇所、市民一人当たりの床面積は全国平均の1.94倍。4割を超える建物が整備後30年以上を経過した。全てを更新すると仮定すると、10年間で約560億円という膨大な負担が試算されている。

答.....

それぞれの時代で合理的な理由があり、ハコモノを整備してきた経緯がある。しかし、人口減少という急流のなか、公共施設のあり方が問われる時代になった。

現在は個別施設計画の策定を急いでいる段階である。優先順位を

問.....

見極めながら使えるものは使う。解体すべきものは解体する。あるいは長寿命化という判断をしなければならぬが、一方、健全財政5カ年計画との連動も図らなければならぬ。いよいよ計画を実行に移すタイミングに入っているところである。

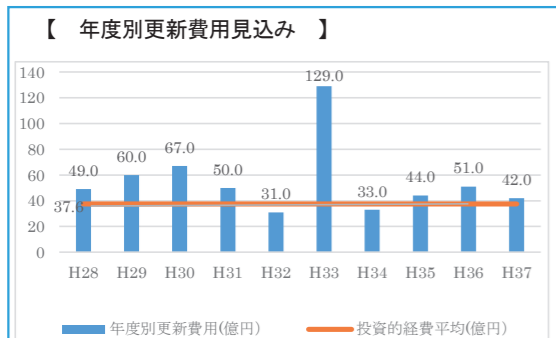


菊池 美也 議員
(政和クラブ)
一問一答方式

【 莫大な更新費用 】

- ・ 総ての建物を更新する場合 1,027 億円必要
- ・ 計画期間 (H28~H37) に限定すると
- 既耐用年数経過分 239 億円
- H28~H37 耐用年数到来分 317 億円

毎年の負担額 56 億円 > 投資的経費平均 38 億円



【 地方交付税の減と扶助費の増 】

- ・ 歳入：地方交付税 5年後 13.4%減
- ・ 歳出：義務的経費(人件費・扶助費・公債費) 5年後 1.9%減
- うち扶助費 " 9.5%増

財政の硬直化 → 遠野ならではの政策実現が困難に

遠野市公共施設等総合管理計画(概要版)から抜粋